

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	徳山市子ども発達支援センター			
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日	～	令和8年2月13日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数) 5		令和8年2月6日
○従業員評価実施期間	令和8年1月26日	～		令和8年2月6日
○従業員評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数) 6		令和8年2月13日
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月26日	～		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答数) 5		
○事業所向け自己評価表作成日	令和8年3月10日			

○分析結果

1	<p>事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること</p>	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
2	<p>訪問支援員は保育園等の経験があり、尚且つ障害児通所支援の経験を持つ職員を配置しているため、双方の立場を理解したうえで支援の提供ができます。</p>	<p>お子さんへの対応の仕方や環境設定の工夫、行事や戶外活動の際の取り組みなど、保育現場で検閲される困りごとに、支援員自身の経験を活かした助言ができます。 また、お子さんの発達に合った玩具・教材・道具などの相談にのることが可能です。</p>	<p>お子さんの日常生活する場である保育園等が、安心できる居場所となるよう支援を継続していきます。 利用児童の状況が様々なことや低年齢化など、状況の変化にも対応できるよう、引き続き人材育成をおこない質の向上に努めます。 適切な支援を提供するためには、保護者・訪問先との連携は不可欠ですので、お子さんの共通理解を深められるような関係をお願いしていきたいと考えています。</p>
3	<p>お子さんの発達特性や状況に合わせた丁寧な支援を提供しています。</p>	<p>定期的な発達評価や、集団生活でのお子さんの状況や成長、保護者からの要望に合わせたプログラムを実施しています。訪問先のスタッフと支援後にカンファレンス、保護者との面談を毎月実施し、三者が情報を共有して進めています。</p>	

1	<p>事業所の強み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
2	<p>提供する曜日や時間帯が決まっているので、訪問先の希望に添えない場合があります。</p>	<p>当センターでは、3つのサービス(児童発達支援・保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援)を提供しています。それぞれのサービスの提供曜日時間が決まっているため、限られた時間帯の訪問になってしまいます。</p>	<p>訪問先からの情報を得ながら、お子さんが長時間過ごしている様子やイメージとして、訪問先の相談に対応していきたい心がけています。お互いの役割を確認しながら今後各訪問先と連携し、お子さんが日中過ごす場が心地良い環境になるよう努めてまいります。</p>
3			